

ラクダのこぶ

ラクダのこぶ

ラクダの背中^{せなか}には、大きなこぶがあります。こぶの中には、水が入っていると思っっている人も多いでしょう。でも、こぶの中に入っているのは水ではなく、あぶらです。

ラクダは、食べものが少ないときに、こぶのあぶらを、体をうごかす力にかえてすごします。

また、ラクダのまつげは長く、はなのあなは、ひらいたりとじたりできます。すなあらしがふいても、目やはなにすなが入らないのです。

こうした体のしくみによって、ラクダは、あついさばくでもくらしていけるのです。

1 こぶの中に入っているのは、何ですか。

ア 水

イ あぶら

ウ 空気

2 ラクダは、食べものが少ないときに、どうしますか。

3 はなのあなを、ひらいたりとじたりできると、どんなよいことがありますか。

4 ラクダがくらしているのは、どんなばしょですか。

あつい

5 この文章でいちばんつたえたいことに合うものに、○をつけましょう。

ア ラクダのこぶには、水が入っている。

イ ラクダは、体のしくみによって、さばくでくらしていける。

ウ ラクダのまつげは、とても長い。